

品川支部

令和7年5月1日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
TEL 3442-7075

5月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

「ひのきしんデイ」の次は 「ようぼく一斉活動日」です

教祖百四十年祭まであと八ヶ月 イベントの数も増え高揚感が高まってきました
今月は全五会の開催予定で企画されました「ようぼく一斉活動日」も四回目の
開催となり品川支部では回を追う毎に参加者が増えている支部と注目を集めて
おります

今回は二回目で好評であった成人確認プログラムで、その後一年間の成長を
見るという企画と 本荏大教会長様の10分で確認する「おさづけ取り次ぎ」につい
ての講演を中心に全二時間の行程で催されます
是非、五回目まで増員に向け盛り上げて参りましょう



教祖百年祭発行の記念シルバーメダル

☆支部行事のお知らせ

・「ようぼく一斉活動日」(第四回/全5回)
五月三十一日(二頁参照)

*今回は午後一時半の開催です
*尚三十日は前日準備ひのきしんです

・教区百四十年祭活動「みんなでのひのきしん」

・神名流し、ゴミ拾ひひのきしん
一日大井町駅前にて十時から

・在宅センターひのきしん
五月二十七日(火)午前九時半〜十一時

・教区ひのきしん

担当は本荏組です宜しくお願い致します

・幹事会

九日、都南分教会にて六時から

・教区からのお知らせ

・布教の家

・本期、布教の家 東京寮は六名の入室者
が有りました

全国的に布教の家の入室者がコロナ禍以来
減少している中多くの方に参加頂きました
是非有意義な時間を過ごして頂きますよう
協力のほどお願い致します

・献血のお願い

先日の記念祭にも献血車で協力頂きました
たが献血ひのきしんは今月三十一日までが
強化期間です宜しくお願い致します

第十六回

東京わかぎ塾

中学生を対象に毎年行われています
わかぎ塾は左記の日程で行われます
五月十日十四時三十分から
十一月十六時まで
楽しく学んで、友達作りに大いに
好評の毎回です 中学生の三年間し
か参加出来ませんのでこの機会を逃さ
ずに参加致しましょう

・布教部から

布教部ではにいがけを他の方は
どんな形で進めているのかとか、一人
では不安なものも色々な方とのお話を参
考に出来る方法としてオンラインで
ミーティングを開催しています
毎回五十名の定員で行っています
だ空きがあるようですのでこの際
是非一度参加して見てください
今月は開催が五月二十九日 九時十
五分から十一時三十分です
参加希望の方で申し込みは
四月二十九日から五月二十六日まで
で、先着順です 布教部又は婦人部
にお問い合わせください

・婦人会から

婦人会では食事会等の楽しく支部内
の婦人が交流できる機会を沢山作っ
ています
品川にお嫁に来た方も多数おいで
この土地でおたすけにも役立つお話が
気軽に出来ます
都度お誘い致します 是非ご参加を

拠点教会	7日号	14日号	21日号	28日号
日本橋	直送	手配り	手配り	休刊
本荏	直送	手配り	手配り	休刊
南泰	直送	手配り	手配り	休刊
三ツ木	手配り	直送	直送	休刊
水豊田	手配り	手配り	直送	休刊

時報手配り五月予定

前会長の父の事を少しお話しさせていただきますと思います。

中澤家は代々子供が小さくして出直す、育たないという因縁があり、東本二代会長庫吉先生にご相談に行かせて頂くと、祖母の実家、兄の所には六人の男の子がいるので、その三男をもらってこいという事になり、父は九才の時、小学校三年生の時に養子としてもらわれて来たのです。

祖母は家の因縁から考えて、養子の父の命がなくてはならない、と祖母は東本に日参する度毎にその当時二円から三円を積み重ねて命の徳積みをしてくださいました。

そして、中学に行ったら、丈夫で通れるだけでなく、道の御用に役立つ用にと徳積みをしてくださいました。

大学に行ったら物に不自由しないようにと徳積みをしてくださいました。



父の五年祭を
迎えるにあたって

命があるように、お道が通れるように、物に不自由しないように、と三つの徳積みをしてくださいましたと聞かせて頂きます。

徳分は徳分として、また因縁は因縁として天の摂理にくだらない事を痛感させていただいたと聞かせていただくのです。

そして、大学を卒業して正月の元旦に御礼に、東本二代会長庫吉先生の元へ行かせて頂くと、明日から俺の元へ来いと言われて、昭和二十八年正月の二日から庫吉先生がお出直しされました昭和三十四年の二月の晩年まで、二代会長の元で青年づとめをさせて頂いたのです。

本部長である庫吉先生は、夏の朝づとめは五時です。三時半に呼ばれ水あびをして身体を清めて行かれるのです。

歩くのか少し不自由でしたので、リヤカーに幌ろうがついた、リンククを押して本部まで行くのです。

その時、二代会長庫吉先生は参拝者でも修養科生でも誰彼れとなく勇みます言葉、声をおかけになるのです。

そして、俺のやっている事をしっかりと見ている、心配り、気くばりのできないやつはどうもならん。

そして、どうでもこうでも相手に喜んでもらおうと思いつめることなんだ。そうするとそのうちに相手の心がわかって来るんだよ。相手の心がわかるように勤めさせていたんだよと、お仕込み頂いたのです。

二代会長庫吉先生のお側で勤めさせて頂くにあたって、祖父より父は二代会長庫吉先生に恐れられて来いと言われたのです。

父は二代会長庫吉先生に恐れられる度毎に、ひとつ徳が積れたな、徳のある人に恐れられるとうれしくて仕方のない心になるんだ、そして六年半の青年づとめで二つだけ覚えたのは「ハイ」という返事ができること、もう一つは「申し訳ない」と頭が下げられる事が身についたと聞かせて頂きます。

初代会長様の理立の信仰を受け継がれ、日々の態度は、親神様、教祖につながる信仰をお教え頂いたと聞くのです。

父から聞かせて頂く理立の信仰、それは、親神様、教祖に心をなぐ誠実をお教えくださったものです。

日々丈夫に通らせて頂き、道の御用をさせて頂く「日々の理」、おさづけを取り次がせて頂く「おさづけの理」、月次祭、入社祭のお話しをさせて頂く「講演の理」、巡教に出させて頂く「巡教の理」、おちばに帰らせて頂く「旅の理」、修養科生一人一人を仕込ませて頂く「お仕込みの理」等々。どの様な事をさせて頂くにも理立、理立と忘れる事なくお通りくださったのです。人間の智慧、力など親神様の御守護の姿に比べれば微々たるものだよと聞かせて頂くのです。

本品分教会長
中澤光郎



第四回 ようぼく一斉活動日

令和七年五月三十一日 (土)

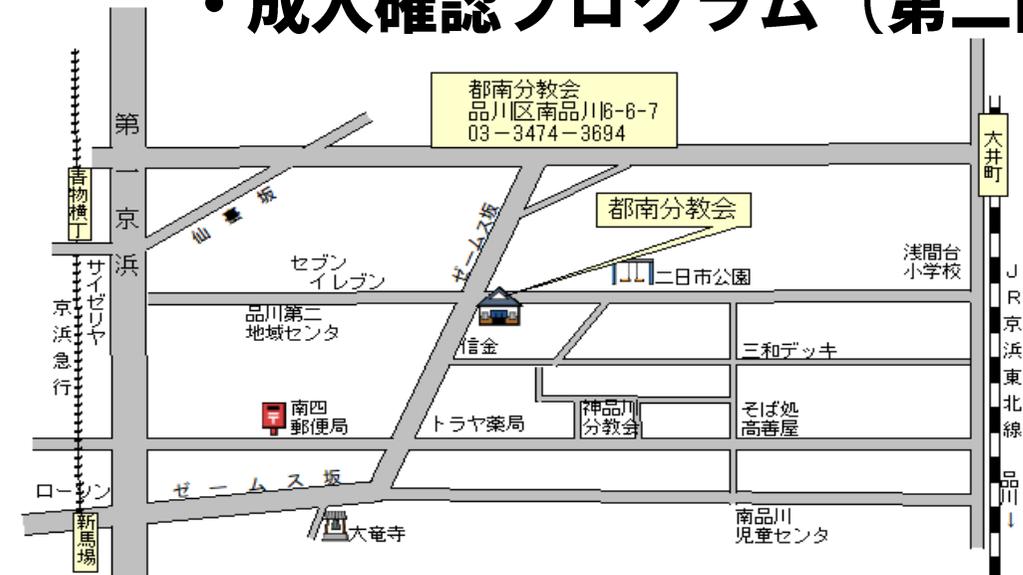
会場 都南分教会
時間 一時半から三時頃迄

受付は一時からできます

内容 座りづとめ

(拍子木に合わせてその場で全員)

- 諭達拝読・ビデオメッセージ
- ・講演「おさづけ取り次ぎ」
本荏大教会長 田中豊一先生
- ・成人確認プログラム (第二回)



* 駐車場も数台用意して頂いておりますので、歩行困難な方も車でお誘い下さい